	令	和4年度 学	校	評価書(中間評	価)	※1段:(R3中間)	2段:R3最終 3段	:R 4 4	門 能登町立柳田中学校
	点標	保護者アンケート	朴部アン A+B	ケート 生徒アンケート	А+В	自 i 評価指標	己 評 価 達成度評価規準	評価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)
	「学び」のある学校づくり	学校は、学力向上に積極 的に取り組んでいると思 いますか。	(90.6) 93.9 89.4	各教科の授業内容はよくわかる。 (全教科平均) 答えを導き出す課程のペア活動や グループ活動を楽しいと思う。 自分の考えが伝わるように資料や 文章、話の組み立てなどに工夫し て発表していた。	(94.8) 92.1 95.9 (95.6) 91.1 94.3 (82.3) 71.3	【努力指標】「わかる授業・学び合える 授業」を目指して授業改善に努め、生徒が「折れない心を持つこと」を実行できている。	◆授業アンケート (全教科平均) ◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満	А	○各教科の授業内容はよくわかると答えた生徒の割合が90%を超えている。 ○答えを導き出す課程のペア活動やグループ活動を楽しいと思うの項目の数値は 依然として90%を超えているが、自分の考えが伝わるように資料や文章、話の組 み立てなどを工夫して発表しているという数値が下がった。グループ活動はでき るが、資料を使ったり、話の組み立てを工夫するという意識があまりなかったの ではないかと考えられる。 ●生徒が「わかった」と思っている割合は高い。しかし、定期テスト等で思考・ 判断・表現を問う問題(検証問題)の生徒率は高くない。 (1年36.6%、2年34.1%、3年53.0%)知識をうまく活用できていないと考え
1		お子さんは、学年目標時間(1年60分、2年70分、3年80分)の家庭学習の習慣が身についていますか。お子さんは3点固定(起床時間・就寝時間・家庭学習開始時間)がされてい	(73.8) 71.1 66.1 (66.4) 67.5 55.6	毎日、学年目標の家庭学習に取り 組んでいる。 自分で計画を立てて勉強してい る。	(84.9) 80.8 84.9 (80.3) 88.0 88.7	【成果指標】 家庭との連携を通して、 家庭学習の習慣化を図る ことができた。(あゆみ ノートやノー画面運動の 取組)	◆生徒アンケート ◆保護アンケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満	В	られる。 ○毎日、学年目標の家庭学習に取り組む生徒、自分で計画を立てて勉強している生徒の数値が上がってきた。今後も家庭学習への取り組み方、家庭での時間の使い方について機会をとらえて指導を継続する。 ○保護者と生徒の回答に誤差がある。 ●家庭学習の習慣化に向けて、テスト期間を「家庭学習強化週間」とし、今後も継続する。
		ると思いますか。 お子さんは、正しい生活 習慣が身に付いています か。		きちんと朝食を食べている。 早寝・早起きを心がけている。 (睡眠時間を7時間以上確保)	(100) 97.4	【努力指標】 家庭と協力・連携して、 より良い生活習慣が身に つくように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護アンケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満	В	○生徒の朝食摂取率が下がった。1年生でのあまり食べない生徒が一人いる。また、生徒は早寝早起きを心掛けているようだが、保護者との回答には誤差がある。 ●睡眠と生活習慣の関係について、指導はしているが、その結果がすぐには表れていない。ネット依存傾向のある生徒や7時間以上の睡眠を確保できない生徒には、個別指導を行ったり、継続して啓発していく。
	「関わり」のある学校づくり	お子さんは学校へ楽しそ うに行っていますか。	(94.3) 87.4 91.0	学校へ行くのが楽しい。 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している。 自分の行動に自信を感じることがある。(自分にはいいところがある) 部活動は、自分を鍛えてくれる。 生徒会活動や委員会活動はやりがいがある。	(90,4) 92,6 92,2 (72,7) 67,2 86,6 (74,2) 61,0 82,7 (97,4) 95,2 93,8 (97,8) 93,0 94,3	【努力指標】 部活動や生徒会・委員会 活動や各種行事などを通 して、充実した学校生活 がおくれるように指導で きた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%末満	В	○学校へ行くのが楽しいと答える生徒の割合が少しずつ上がってきている ○部活動の取組の成果は高く安定している。日々の取組の成果と考える。 ○生徒会活動・委員会活動はやりがいがあると答える生徒が90%を超で安定している。自治的活動の意義を生徒が実感する場を保障し、教師が支援してきた成果として、割合が高くなっていると考える。 ○「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」「自分にはいいところがある」の数値が上昇した。 ●「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」「自分にはいいところがある」の数値が上昇した。 様しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」「自分にはいいところがある」の項目で、3年生の大きく上昇した。縦割り班での活動を増やしたことにより、最上級生としての自覚をもって下級生と関わる機会が多かったことが結果として数値に現れたと考えている。また、人前に出て何かをするときには、事前の練習に取り組んでから本番を迎えたことによって、自信がついてきたのではないかと考える。
2		学校は、「いじめを許さ ない学校づくり」に努め ていると思いますか。	(97.6) 93.1 94.4	思いやりの心を持って、級友など に接している。 自分の周りには、いじめや仲間は ずれはない。	(9 3.0) 91.1 98.1 (93.0) 93.4 90.4	【努力指標】 生徒会の活動を中心に、 「いじめを許さない学校 づくり」を行うことができた。 【努力指標】 道徳の授業を確保し、道 徳心や人権意識など心の 教育に努力している。	◆生徒アンケート A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%末満 ◆保護百%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%末満	A	○「思いやりの心を持って、級友などに接してる」生徒の割合が上がった。「自分の周りにはいじめや仲間はずれがいない」に否定的な回答をしている生徒に思いを確認する。 ●些細な出来事について、今まで以上に保護者と教職員間で情報共有し、100%に近づけるよう努力する。
		学校は、地域やふるさと について学ぶ機会を多く 設定していると思います か。	(85.8) 86.4 92.1	地域やふるさとについての学習に 積極的に取り組んでいる。 地域の人たちにきちんとあいさつ ができている。	(76.4) 82.3 76.5 (93.0) 86.7 90.4	【雑様に対し、ふるさとやはに対し、ふるさとを生態に対し、ふるさと郷土とのけさせまであることができた。 【努力指標】 挨拶やくその場に応じたましたができまかでできるよう日常的に指導を進めることができまかでできまかでできた。	◆生徒アンケケート ◆保護者アンケケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満	В	 ○地域やふるさとについての学習の数値が上がった。2年生の職場体験をはじめ、体育祭や文化祭、遠足等、いろいろな行事を通して、地域の人との交流によりふるさとについて改めて学習する機会があったためと考えられる。 ●今回、地域の人材をゲストティーチャーとして授業に招くことができた。コロナ禍ではあるが、地域学習について、出来ることを探りながら取り組んでいきたい。
	学校づくり	お子さんと将来の進路や 自己実現について話をし ていますか。	(74.7) 75.5 59.2	将来の進路に対する夢や目標を 持っている。		【満足指標】 将来の夢を実現するため に、学ぶことの大切さが 分かるキャリア教育を推 進している。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満	С	○生徒の割合の変化はないが、保護者の割合が下がった。家庭でも将来のことや 進路について、3年生の進路選択時のみならず、話す機会を期待したい。●今後も継続して、キャリアに関する計画を実行していく。
		学校は、家庭への連絡や 情報提供を積極的に行っ ていると思いますか。	(98,3) 92,3 97.6	学校だよりなど、学校からのお知らせを必ず保護者に見せている。	(84.8) 77.5 90.4	【努力指標】 学校だよりや各種お便り 等を充実させ、学校から 積極的に情報発信するこ とができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A:90%以上 B:85%以上 C:80%以上 D:80%未満	А	○3年生の数値が上がった。 ●3年生に関して、最上級生となり、進路関係や学校行事等で保護者に伝える書業等を渡す機会が多かったためと考えられる。自分のことに対する自覚が芽生えたと考えられる。
3		教職員(SC・相談員含 む)は、悩みや相談につ いて適切に応じていると 思いますか。	(95.8) 90.1 92.9	いろいろな悩みについて、先生は 相談にのってくれる。 いろいろな悩みについて、友だち は相談にのってくれる。 先生方は、いじめやトラブルに対 し、すぐに対応してくれる。 先生や友達からほめられたり、認 められたりすることがある。	95.6 96.2	るなど、生徒の悩みや相談事を親身に受け止め、 共感的人間関係づくりと 自己存在感・自己決定力 をつける生徒指導に努め ることができた。	◆生徒アンケート A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%末満 ◆保護者アンケート A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%末満	В	○悩みを友だちや先生に「相談」したり、「トラブルに対応」してくれるという数値が90%を超えており、相談しやすい雰囲気が作られていると考える。しかし「先生方はいじめやトラブルに対し、すぐ対応してくれる」の評価が若干下がった。全職員で情報を共有し、きめ細かな対応をしてきたつもりだが生徒にとっては、満足できなる状況ではないのかと考える。 ●生徒の変化を見逃さないよう、生徒の登校時の様子等を観察し、気になる生徒への早期対応・いじめ等の未然防止を徹底する。また、気になる事案について、家庭や関係機関と連携して対応にあたる。できる限り、複数で対応する。 ●スクールカウンセラーによる面談や生徒が面談者を選ぶ面談を実施し、生徒の悩みや相談をより気軽にできるような体制を整えた。
		インターネット・タブ レット等の使用に関し て、家庭内にルールがあ りますか。	(77.0) 79.3 81.5	メディアコントロールに取り組ん でいる。	(62.4) 70.5 80.7	【努力指標】 家庭と連携し、生徒に端 末機器を扱うセルフコン トロールカを身に付けさ せることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満	В	○今年度から「ノー画面」を改め「メディアコントロール」とした。取り組み方法も取り組みやすいように変え、テスト期間中の取組の達成度をホールに掲示したため、意欲を持って取り組めたのではないかと考える。 ●メディアを禁止するばかりではなく、使い方を意識させたので、前向きにメディアコントロールに取り組んだと考える。今後も継続してメディアコントロールに取り組む。
	業務改善 をすすめる学校づくり	職員アンケート	A+B			評価指標 【努力指標】	達成度評価規準	評価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)
4		自分に求められていることを理解し、組織の一員として活動できた。 自分の役割分担等以外のことにも協力できた。	(100) 100 90 (100) 100			校務分掌を理解し、学校 組織の一員として、意識 して行動することができ た。 【努力指標】 同僚性を意識し、学校運 営に協力することができ た。 【努力指標】	A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%末満 ◆職員アンケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%末満	A	○教職員一人一人が、組織的な学校運営に関わっている。100%と数値が高い。 ○自分の校務分掌だけでなく、同僚性を意識して運営に参画していた。100%と 数値が高い。
		報告・連絡・相談・記録 を徹底できた。 「月2回の定時退校」「2 〇時までの退校を実行で きた。	(100) 100 90 (78) 100 60			学校組織の一員としてコミュケーションを大切にし、円滑な校のことができた。 「努力指標」 勤務時間を意識し、見通しを持ち、仕事を進めることができた。	A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満 ◆職員アンケート A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満		○校内におけるコミュニケーションがうまく機能し、100%と数値が高い。 ○勤務時間調査をすることで時間外勤務時間を把握することができる。見通しを持って仕事に取り組み、ワーク・ライフ・バランスを意識していきたい。 ●コロナ禍ではあるが、生活が徐々にコロナ前に戻ってきた。やるべきことが多岐にわたるが、月1回の全員定時退校日と月1回のマイ定時退校日に継続して取り組んでいく。